

**TRUSCO**  
PRO TOOL

Skilled professionals need professionally qualified tools.  
This line of products brings manufacturers all the advantages of  
using excellent equipment,  
and will satisfy each and every user in the workplace.

# 乾湿両用クリーナー

TVC-134A

取扱説明書

●このたびは、**TRUSCO** クリーナーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

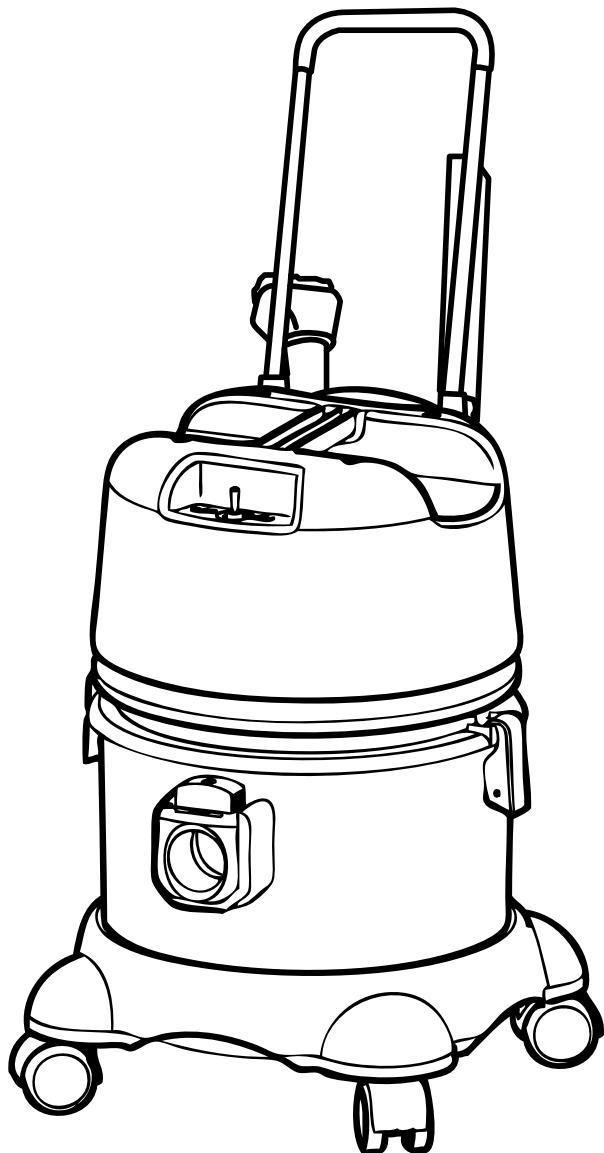
●ご使用の際は、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。

お読みになった後は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

吸引対象物	
一般ゴミ	○
微粉じん	×
水	○
油類	×

## もくじ

1	安全のために必ずお守りください	1
2	仕様と付属品	3
3	各部の名称	4
4	ご使用方法	4
	1.ハンドルの取付け方	4
	2.水や汚泥などを吸引するときのご注意	5
	3.電源コードの接続	5
	4.ホースの接続と外し方	6
	5.フロアノズルのご使用方法	6
	6.風量調節穴	6
	7.スイッチ	6
	8.クリーナー上部の着脱方法	6
	9.フロート(オーバーフロー防止装置)	6
5	お手入れ	7
	1.フィルターのメンテナンス	7
	2.お手入れ	8
6	安全のための点検のお願い	8
7	こんなときは(故障かな?と思ったら)	9
8	保証書	11



日本国内100V専用(単相交流100V以外の電源では使用できません)

# 1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、△警告・△注意の2つに区分しています。

しかし、△注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

**！警告**：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

**△注意**：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

**注記**：警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図は感電注意）
		○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描かれているものもあります。（左図は分解禁止）
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図はアースを接続する）

#### ●搬入・移動上の注意事項

## 注意

**!** 搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。  
\*落下・破損などによりケガの原因になります。

**!** 人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。  
\*腰を痛める原因になります。

## ●試運転・運転の際の注意事項

警 告

 定格 15 A 以上のコンセントを単独で使用する。 * 他の器具とコンセントを併用したり、電源回路の許容電流が合わないと、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。	 アースを確実に取付け、漏電ブレーカー(別売市販品)を使用する。 * 故障や漏電、静電気が発生したときに感電する恐れがあります。
 濡れた手で、差込みプラグやスイッチ、配線などの電気まわりに触らない。 * 感電やケガの恐れがあります。	 本機に水や油をかけたり、雨水のかかる場所で使用しない。 * ショートや感電、火災の原因になります。
 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものを吸引したり、それらの近くで使用しない。 * 爆発したり、火災の原因になります。	 アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉じん、ガス・蒸気などを吸引したり、それらの近くや雰囲気内で使用しない。 * 爆発したり、火災の原因になります。
 塩素系切削油を吸引しない。 * 化学変化により樹脂製部品が割れる恐れがあり、割れた部品などでケガをしたり、部品破損により思わず事故が起きる危険があります。	 電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。 * プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。
 ダイオキシン類などの有害物質やアスベスト(石綿)類を含んだ粉じんなど、人体に有害なものを吸引しない。 * 環境汚染・健康障害につながる危険性があります。	

## ! 注意

<p> 10 μm(マイクロメーター)以下の粉じんは吸引しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 本機は極小微粉じん吸引には適しません。</li> <li>①微粉じんがモータ内部へ入り込み、モータ焼損を原因とした火災の恐れがあります。</li> <li>②微粉じんがフィルターを通過して排気口から吹出し、霧囲気汚染の原因になります。</li> </ul>	
<p> 動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。</li> </ul>	<p> 交流 100V 以外で使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 感電やショートして発火することがあります。</li> </ul>
<p> 使用する電源回路を事前に確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 許容電流 15A 以上の電源回路が必要です。許容電流が合わないと、過熱などにより事故の恐れがあります。</li> </ul>	<p> 電源コードは延長しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* コードが発熱して火災の危険があります。</li> </ul>
<p> 電源コード先端のアースクリップでアースに接続する。特に、床に水気のある所では必ずアースをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* アースしないと、感電の危険があります。</li> </ul>	<p> 運転中に吸込み口や吸気口・排気口をふさがない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。</li> </ul>
<p> 屋外の雨水のかかる場所で使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 絶縁劣化による感電・漏電火災・故障の原因になります。</li> </ul>	<p> 浮遊粉じんの多い霧囲気で使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 吸気口からモータ内部に浮遊粉じんが入り込み、モータ焼損による火災の原因になります。</li> </ul>
<p> 塩素系切削油がミストや油煙化した霧囲気内で使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 樹脂部品に付着すると化学変化が起きて樹脂が割れる恐れがあり、割れた部品などでケガをしたり、部品破損により思わぬ事故が起きる危険があります。</li> </ul>	<p> 温度の高い(40°Cを越える)場所で使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 火災の原因になります。 霧囲気温度範囲は 0°C~40°C です。</li> </ul>
<p> 水や汚泥などと粉じんを連続して吸引しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* フィルターの目詰まりからモータが焼損し、火災の原因になる場合があります。</li> </ul>	<p> 濃度の高い場所で使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 感電・火災・故障の原因になります。 霧囲気湿度 80%以下でご使用ください。</li> </ul>
<p> シンナーなどの溶剤、揮発性・爆発性ガス・粉じん、火のついたたばこの吸いがら、熱を持った物質などは吸引しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 爆発・火災、フィルター焼損の原因になります。</li> </ul>	<p> 銳利な切粉は吸引しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* フィルターを破損し、モータ焼損による火災の原因になります。</li> </ul>
<p> 腐食性のものを含んだ水や粉体は吸引しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* モータ焼損や故障、事故の原因になります。</li> </ul>	<p> セメント粉、合成樹脂粉など固化するものや、金属粉、カーボン粉など導電性の微粉じん、薬品などを吸引しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 感電やショートして発火することがあります。</li> </ul>
<p> 火気に近づけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 本機の変形により、ショートして発火することがあります。</li> </ul>	<p> 泡立つものは吸引しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 泡でフロートが正常に動作しない場合があり、オーバーフローすると排気口より泡があふれて漏電したり、着衣が汚れる危険があります。また、モータ故障の原因になります。</li> </ul>
<p> 横倒しでの使用は絶対にしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 水や汚泥などが吹きこぼれる恐れがあります。</li> </ul>	<p> 水や汚泥などの吸引中や吸引後は、本機を横に倒さない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 感電・漏電火災・故障の原因になります。</li> </ul>
<p> ホースを踏んだり、急激に引っ張らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* ホース破損による汚損事故の原因になります。</li> </ul>	<p> 吸込み口やノズルの中に手や指を入れない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* ケガの原因になります。</li> </ul>
<p> クリーナーは、押し手を持って移動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 電源コードやホースを引っ張って本機を移動すると、電源コードやホースの破損などにより、火災・感電・汚染事故の原因になります。</li> </ul>	<p> 押し手で持ち上げない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 本体の落下など、事故の原因になります。</li> </ul>
<p> 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物をのせたり挟み込まない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。</li> </ul>	

## △ 注意

	電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆいときは使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。		電源コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 * コードが発熱して火災の恐れがあります。 必ず伸ばした状態で使用してください。
	電源プラグにピンやゴミを付着させない。 * 感電やショートして発火することがあります。		使用後は、電源コードをコード掛けに掛ける。 * 電源コードが劣化したり、傷つくと危険です。
	使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 * ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。		電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 * 感電やショートして発火することがあります。
	作業後は、タンク内のゴミを必ず捨てる。 * ゴミをためたままにすると、ゴミが腐敗や化学変化をおこして、健康を害する要因になることがあります。		ゴミを捨てるときは、保護手袋や安全靴を着用する。 * ゴミなどで手を傷つけたり、ケガをする恐れがあります。
	くわえたたばこをしたままゴミを捨てない。 * たばこの火がゴミに燃え移り、やけどや火災の原因になります。		ゴミを捨てるときは、防じんメガネやマスクを着用する。 * 健康を害する恐れがあります。

## ●保守・点検の際の注意事項

## △ 注意

	修理技術者以外の人は、分解や修理を絶対にしない。 * 発火したり異常動作をすることがあります。		お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 * 感電やケガをする恐れがあります。
---	--	---	--

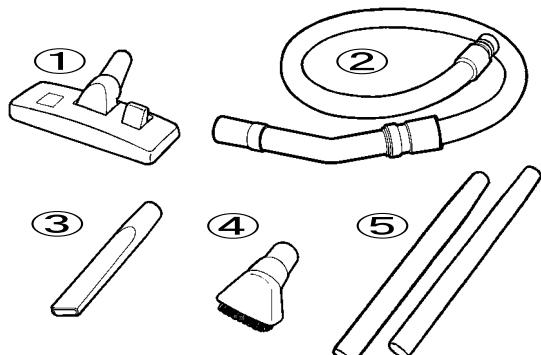
## 2 仕様と付属品

### 仕様表

品 番	TVC-134A
電 源	100V
消 費 電 力	1100W
電 流	11.5A
最 大 風 量	2.6m <sup>3</sup> /min
最 大 真 空 壓	23kPa
騒 音 値	73dB
フィルター面積	0.16m <sup>2</sup>
タ ン ク	8 l
ホ 一 ス	1.8m × φ32
電 源 コ ド	8m
本 体 尺 法	幅340×奥行き360×高さ485mm
標 準 質 量	8.2kg (通常使用時の付属品を含む)

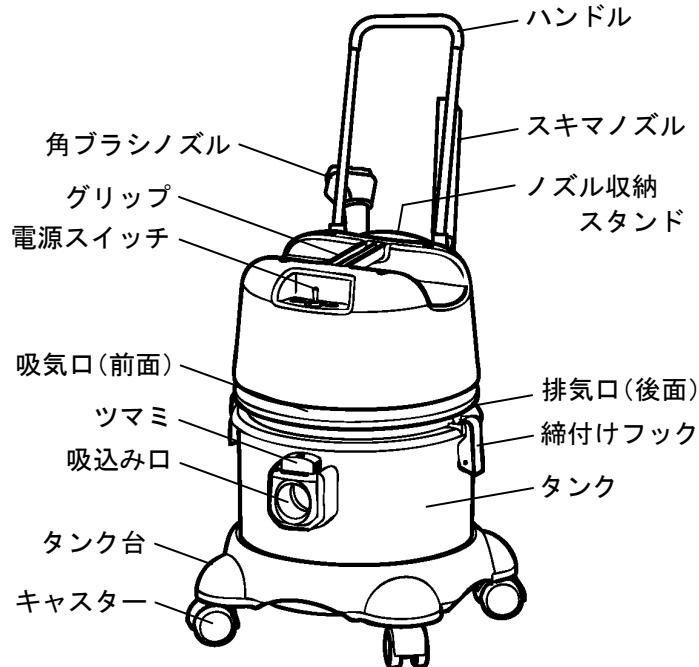
### 付属品

- ① φ32フロアノズル ..... 1個
- ② φ32ホース (1.8m) ..... 1本
- ③ φ32スキマノズル ..... 1個
- ④ φ32角ブラシノズル ..... 1個
- ⑤ 直管パイプ (2本組) ..... 1組
- ⑥ フィルター ..... 1個
- ⑦ 取扱説明書 ..... 1部



**注記** 許容電流15A以上の電源回路が必要です。  
使用される電源回路をご確認ください。

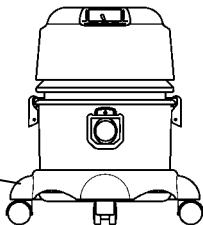
### 3 各部の名称



#### \*ご使用の前に\*

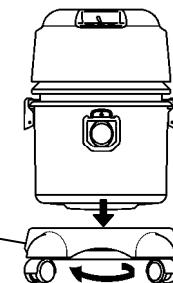
本体保護のため、出荷時はタンク台が右図の向きになっています。

タンク台



本体をタンク台から抜き、45度回転して再度装着してご使用ください。

タンク台

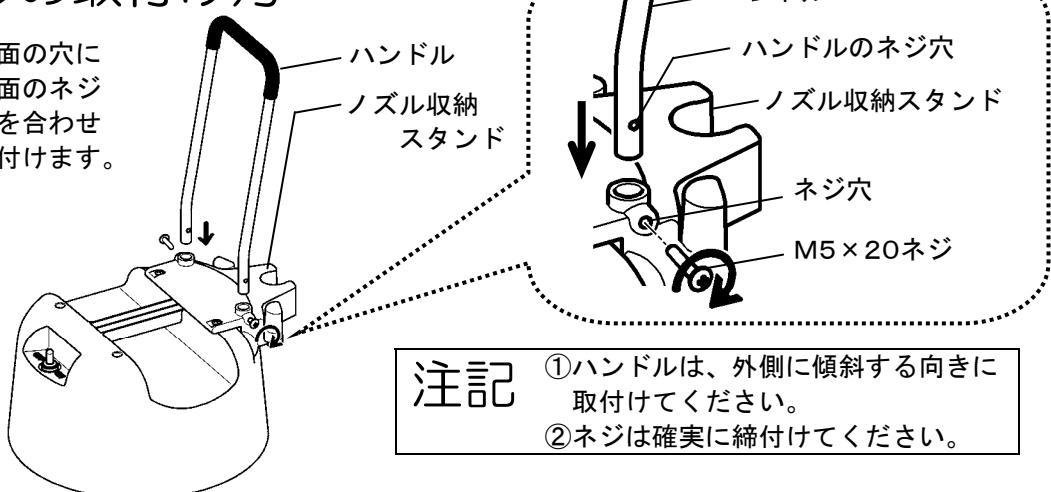


### 4 ご使用方法

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

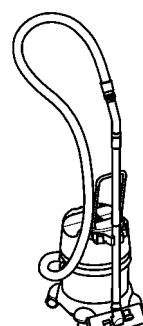
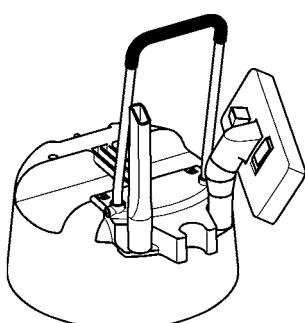
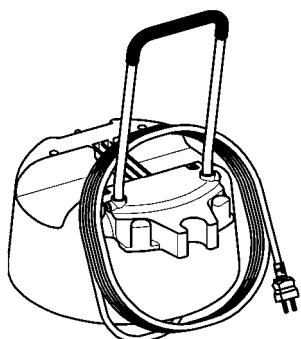
#### 1. ハンドルの取付け方

ノズル収納スタンド天面の穴にハンドルを差込み、側面のネジ穴とハンドルのネジ穴を合わせて、M5×20ネジで締付けます。



#### 注記

- ①ハンドルは、外側に傾斜する向きに取付けてください。
- ②ネジは確実に締付けてください。

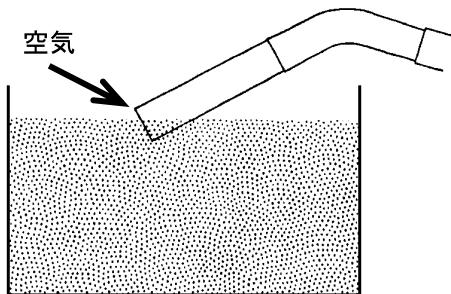


## 注記

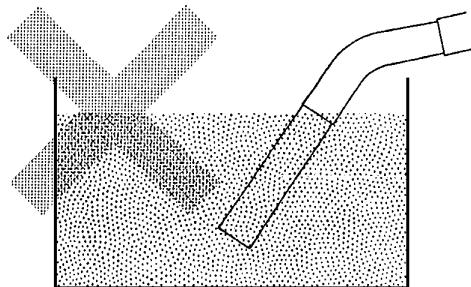
- ①水や汚泥などと一般ゴミを連続して吸わせないでください。
  - ②フィルターが濡れているときは、乾いたゴミは吸わせないでください。
  - ③乾いたゴミを掃除した後に、水や汚泥などを吸引すると、フィルターが目詰まりしやすくなります。水や汚泥を吸引する前に、フィルターのメンテナンスをしてください。
  - ④水や汚泥を吸引した後、すぐに乾いたゴミを吸引すると、フィルターが目詰まりしやすくなります。フィルターが乾いてから掃除をするか、乾いたフィルターに交換することをお勧めします。
  - ⑤本機は<軽じん用>です。10 $\mu\text{m}$ 以下の微粉じんの吸引はモータ焼損事故の原因になります。  
※10 $\mu\text{m}$ の目安は、指でつまんですり合わせたとき、指紋に入るくらいの大きさです。
  - ⑥水・汚泥などは吸引できますが、切削油などの油類は吸引しないでください。故障の原因になります。

#### ★液体を吸引するときのご注意

ホースや直管パイプで直接吸引するときは、空気も吸引できるように、ホースや直管パイプの先端を下図のように液体表面から少し出してご使用ください。



液体の中にホースや直管パイプを差込んで吸引しないでください。  
オーバーフローの原因になります。



## 2. 水や汚泥などを吸引するときのご注意

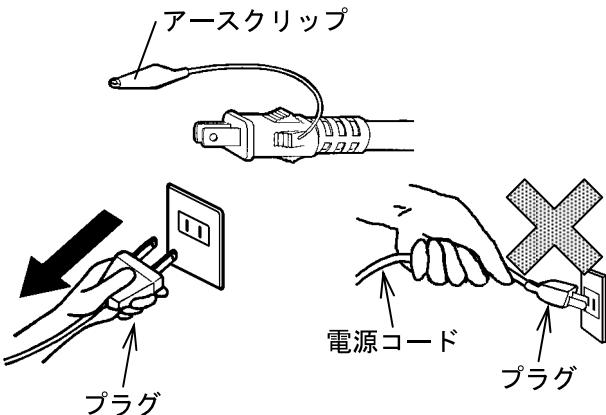
- ① 必ずフィルターをつけた状態でご使用ください。
  - ② 水や汚泥などを吸引した後は、すみやかにタンク内の水や汚泥などを捨ててください。
  - ③ 水や汚泥などを吸引した後に、乾いたゴミを掃除する場合は、フィルターを洗い、よく乾かしてからクリーナーに装着してご使用ください。（フィルターのメンテナンスは7ページ参照）  
フィルターは、2～3回程度は洗って繰り返しご使用いただけます。フィルター効果を保つため、4回以上の洗浄は避け、フィルターを交換されることをおすすめします。
  - ④ 一般ゴミと水や汚泥などのどちらも頻繁に掃除する場合は、フィルターを2枚ご用意いただき、一般ゴミ専用と、水や汚泥専用に分けてご使用されることをおすすめします。  
フィルターは別売（品番：TVC-134-FA）でご用意しています。

### 3. 電源コードの接続

- ① 電源プラグを100Vのコンセントへ差込みます。  
アースクリップでアースに接続してください。
  - ② コンセントから抜くときは、必ずプラグを持ち、  
真っ直ぐ抜いてください。

注記

電源コードを横に引っ張って  
プラグを抜くと、プラグ先端が  
変形して使えなくなります。



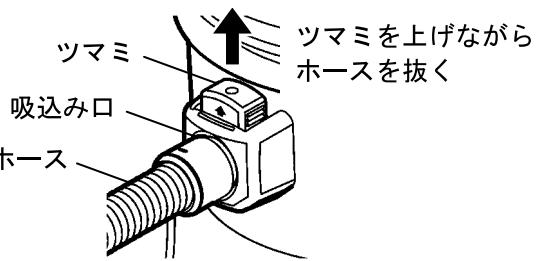
## 4. ホースの接続と外し方

### (1) ホースの接続

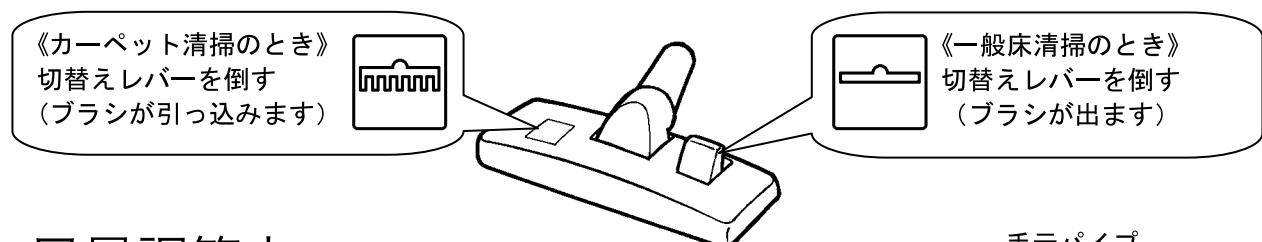
ホースを、吸込み口にカチッと音がするまで差込んでください。ホース

### (2) ホースの外し方

吸込み口のツマミを上げながら、ホースを抜いてください。



## 5. フロアノズルのご使用方法



## 6. 風量調節穴

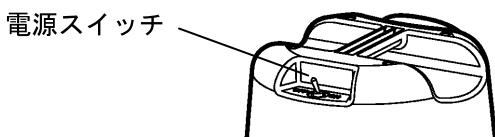
φ32ホースの手元パイプに風量調節穴があります。

- ① 一般ゴミを清掃するときは……風量調節穴を閉じてください。
- ② 水や汚泥などの吸引には……風量調節穴を開けてください。



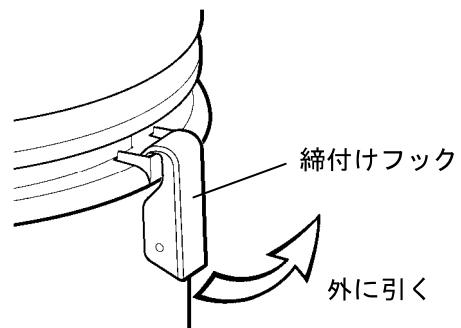
## 7. スイッチ

本体上部に、電源スイッチがあります。



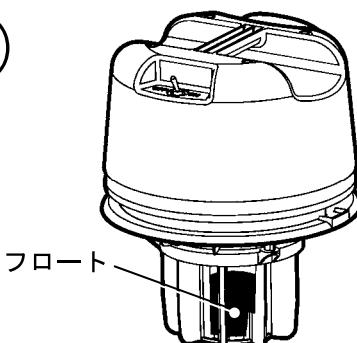
## 8. クリーナー上部の着脱方法

- ① クリーナー上部は、締付けフックでタンクに固定しています。
- ② 締付けフックは、下部を外側に引くと外れます。
- ③ 再び取付けるときは、クリーナー上部とタンクの向きを合わせ、モータ台の凹部に締付けフックを止めてください。  
クリーナー上部とタンクの向きは、4ページの「各部の名称」をご参照ください。



## 9. フロート（オーバーフロー防止装置）

- ① タンク内に一定以上の水や汚泥などがたまると、オーバーフロー防止のために吸引を停止する装置です。
- ② 装置が働き、吸引が停止したら、電源スイッチを切ってからタンク内の水や汚泥などを捨ててください。
- ③ フロートが上がっていると吸引運転ができないので、時々フロートを上下に動かして点検してください。



### 注記

- ① フロートが上がった状態で運転を続けると、過熱防止装置が働きモータが停止します。  
過熱防止装置が働いた場合は、スイッチを必ず切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② 過熱防止装置は自動復帰です。スイッチを切らないで放置すると、予期しないタイミングで運転を再開することがあります。危険です。
- ③ 過熱防止装置の作動から約15分後、スイッチを入れると運転再開できます。

# 5 お手入れ

安全にご使用いただくために、必ず「**1 安全のために必ずお守りください**」の項を先にお読みください。

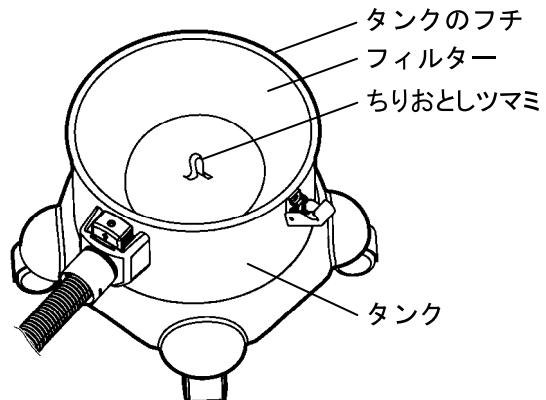
## 1. フィルターのメンテナンス

### 注記

- ①ホースを吸込み口に差込んだままで、ちりおとしをしてください。  
\*ホースを抜いてちりおとしをすると、吸込み口より粉じんやホコリがもれる恐れがあります。
- ②フィルターの目詰まりがひどくなると、ゴミの吸込みが妨げられ、モータの故障原因になります。
- ③フィルターは、縫い目がほつれていないか、穴が開いていないかご確認ください。

### (1) フィルターのちりおとし

- ①クリーナー上部をタンクから外してください。  
※ホースは吸込み口から抜かないでください。
- ②タンク内にフィルターがあります。  
※フィルターをタンクから取出さずに、ちりおとしをしてください。  
フィルターが浮かないようにフチを押さえながら、ちりおとしつマミを持ってフィルターをゆすり、付着したゴミを落としてください。
- ③フィルターが目詰まりすると、吸引力が落ちます。  
掃除終了後には毎回必ずちりおとしをしてください。
- ④ちりおとしをしても吸引力が戻らないときは、フィルターを交換してください。



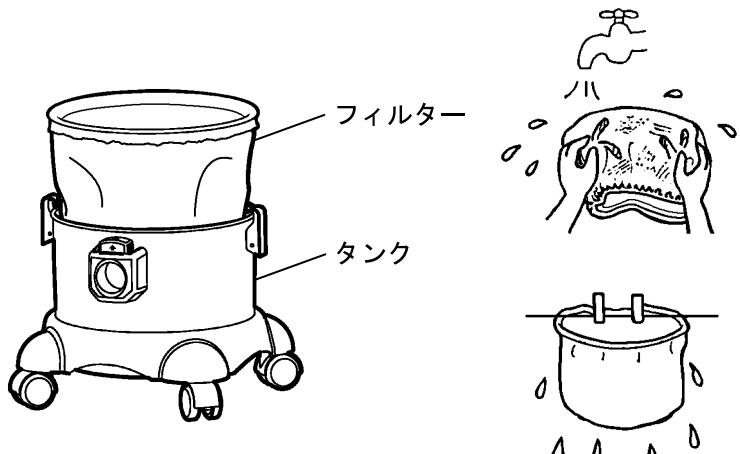
### (2) フィルターを洗う

### 注記

フィルターを洗うときに、強くこすったり絞ったりすると、破れた  
り穴が開いたりして使えなくな  
ります。

フィルターは、洗って繰り返し使えます。

- ①フィルターをタンクから取出します。
- ②歯ブラシなどでゴミを取除き、水または、ぬるま湯などで洗ってください。
- ③完全に乾くまで陰干してください。



## 2. お手入れ

ホースやクリーナー外装が汚れたら、中性洗剤のうすめ液に浸したぞうきんやウエスを固く絞って拭いてください。

### 注記

石油、ベンジン、アルコール、シンナー類は、ご使用にならないでください。

## 6 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「**1 安全のために必ずお守りください**」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、下記項目の点検をしてください。

点検で不具合が見つかったときは、すみやかに処置を施してください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の人は、分解や修理を絶対にしないでください。

部品の交換・点検が必要な場合は、販売店に点検・修理をご依頼ください。

点検項目	処置
電源コードは傷んだり、変形していませんか？	電源コードの交換が必要です。
差込みプラグに変形やガタはありませんか？	電源コードの交換が必要です。
ホースは変形したり破れていませんか？	ホースの交換が必要です。
ホース・直管パイプにゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
フィルターは正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
フィルターが破れていませんか？	フィルターの交換が必要です。
フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを掃除してください。
締付けフックは正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
タンクは変形したり割れていませんか？	タンクの交換が必要です。
タンク内にゴミがたまっていますか？	ゴミを処理してください。
スイッチ保護ゴムに破れはありませんか？	保護ゴムの交換が必要です。
クリーナー上部は正しく装着していますか？	スイッチ部を前向きにセットしてください。 (4ページ「各部の名称」図参照)
キャスターが磨耗したり変形していませんか？	タンク台セットの交換が必要です。
各部のボルト、ナットはゆるんでいませんか？	増し締めしてください。
モータ回転音に異常はありませんか？	修理技術者、販売店に連絡してください。
変な音や、臭いがしませんか？	販売店に点検をご依頼ください。

## 7

## こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「**1 安全のために必ずお守りください**」の項を先にお読みください。

異常が発生したときは、電源を遮断し、下記の点検をしてください。

症 状	調べるところ	直し方
•運転しない。	電源プラグがコンセントに確実に差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差込み直します。
	電源ブレーカーが落ちていませんか？	電源ブレーカーが落ちた原因を取除いてから、ブレーカーを入れてください。
	電源コードが断線していませんか？	電源コードの交換が必要です。
	過熱防止装置が働いていませんか？	スイッチを切り、パイプやホースに吸引物などが詰まっている場合は取除いてください。フロートが上がっていれば、下げてください。過熱防止装置は自動復帰です。約15分後、スイッチを入れると運転再開できます。
	モータの寿命ではありませんか？	モータの交換が必要です。 モータの寿命は、約500時間が目安です。
•吸引しない。 •発生音が高くなった。	ゴミがタンク一杯になっていませんか？	タンク内のゴミを処理してください。
	ホースや吸込み口にゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
	タンクに亀裂が入っていませんか？	タンクの交換が必要です。
	本体を横転させる等してフロートが上がっていますか？	一度スイッチを切り、フロートが下がることを確認してください。
•吸引力が急に弱くなった。	ホースや吸込み口にゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
	ホースやパイプが破れていますか？	新しい部品と交換してください。
	クリーナー上部とフィルター、タンクは完全に密閉していますか？隙間ができていませんか？	クリーナー上部とフィルター、タンクを正しく合わせて、締付けフックで確実に固定してください。
	フィルターが目詰まりしていませんか？	①ちりおとしをしてフィルターのホコリを落してください。 ②汚れがひどい場合は、フィルターを洗ってください。（7ページ参照） ③洗っても吸引力が回復しないときは、新しいフィルターに交換してください。
	モータが異常回転していませんか？	修理技術者に連絡して、故障のモータを交換、または故障原因を取除いてください。
•フィルター交換後、モータは回転するが吸引しなくなった。	フィルターが正しく装着されていますか？	正しく装着してください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の人は、分解や修理を絶対にしないでください。

※上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

## ●危険防止のための注意事項

- ◆ 本機は正常なご使用方法で運転する場合、本機自体より事故を発生することはありません。
- ◆ しかし吸引する粉じんの種類や周囲の雰囲気により、種々の火種、静電気の放電による火花などにより、ガス爆発や粉じん爆発を起こす場合があります。
- ◆ 引火性、爆発性、腐食性ガスの雰囲気内および爆発性粉じん、可燃性粉じんが浮遊、または堆積する可能性のある危険場所では絶対にご使用にならないようご注意ください。
- ◆ 参考のため、爆発性ガスおよび粉じんの一部を表記します。

### (1) 主な爆発性ガスの種類

爆発等級	発火度					
	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6
1	アセトン、トルエン アンモニア、プロパン 一酸化炭素、ベンゼン エタン、メタノール、酢酸 メタン、酢酸エチル	エタノール 酢酸イソアミル 1-ブタノール ブタン 無水酢酸	ガソリン ヘキサン	アセトアルデヒド エチルエーテル		亜硝酸エチル
2	石炭ガス	エチレン エチレンオキシド	イソブレン			
3	水性ガス 水素	アセチレン			二硫化炭素	硝酸エチル

### (2) 主な爆発性および可燃性粉じんの種類

爆発性粉じん	可燃性粉じん	
	導電性のもの	非導電性のもの
マグネシウム、アルミニウム アルミニウムブロンズ アルミニウム(含脂)	亜鉛、チタン、コークス カーボンブラック、鉄 石炭	小麦粉、とうもろこし、砂糖 ゴム、染料、ポリエチレン フェノール樹脂、ココア リグニン、米ぬか、硫黄

## ●静電気の発生とその防止について

- ◆ 静電気の発生は、二つの物体の接触分離など力学的運動に伴い、本来電気的に中性状態である物体上でプラスまたはマイナスのどちらか一方の極性電荷が他方よりも過剰となる現象です。
- ◆ クリーナーや集じん機の場合、粉じんを吸込むときに、その粉じんとホースまたはダクトの内面の接触・摩擦移動により、静電気がホースやダクトまたはクリーナー・集じん機本体、フィルターに蓄積される状態を言います。
- ◆ そのため、この蓄積された電荷がダクト内や本体内のフィルターなどからアースに対し放電状態で中和される際に周囲の可燃性の粉じんなどに引火し、いわゆる粉じん爆発を起こす要因になります。
- ◆ 静電気発生を極力少なくするため、本体およびダクトはアースに接続してください。これは、高電圧になる前に大地に放電して障害を少なくするためです。
- ◆ 静電気は空気が乾燥するほど、また、微粉じんを高速で吸引するほど多く発生します。
- ◆ 物質の帯電序列の例を参考のため下記に表示しました。

表中、二つの物質を摩擦または剥離したとき、上部の物質がプラスに帯電し、下部の物質がマイナスに帯電します。

ホースやダクトまたはフィルターの材質と粉じんが接近したものほど帯電は少くなります。

### (3) 帯電序列の例

金属	繊維	天然物質	合成樹脂
(+) 鉛 亜鉛 アルミニウム クローム 鉄 銅 ニッケル 金 白金	(+) 羊毛 ナイロン レーヨン 絹 木綿 麻 ガラス繊維 アセテート ビニロン ポリエステル アクリル ポリ塩化ビニリテン	(+) アスベスト 人毛・毛皮 ガラス 雲母 木材 人の皮膚 紙 ゴム セルロイド セロファン	(+) エポナイト ポリスチレン ポリプロピレン ポリエチレン 塩化ビニル ポリテトラフロロエチレン
(—)	(—)	(—)	(—)

## クリーナー 保証書

持ち込み修理

品番	TVC-134A	※お買い上げ日	保証期間
		年月日	お買い上げ日より1年
● お客様	〒 ご住所		
	お名前	様	
● 販売店	住所 〒 店名 TEL	印	

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ただし、消耗品や定期交換部品は保証の対象から除きます。製品品番や販売店名等の必要事項が記載されていないものは無効です。

## 無料修理規定

- 1.取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。無料修理いたします。
- 2.次のような場合は、保証期間内でも有料修理となります。
  - (A) ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - (B) お買い上げ後の落下等及び輸送上の故障及び損傷。
  - (C) 火災、地震、風水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天災地変や異常電圧による故障及び損傷。
  - (D) 一般的な用途以外に使用された場合の故障及び損傷。
  - (E) 本書のご提示がない場合。
  - (F) 本書に、お客様名、買上年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。

- 3.ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
- 4.ご贈答などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には取扱説明書に記載されているお客様相談室にお問い合わせください。
- 5.本書は日本国内においてのみ有効です。
- 6.本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

☆この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げ販売店または取扱説明書に記載されているお客様相談室にお問い合わせください。なお、標準部品としての補修用パーツの保有期間は製造打ち切り後6年です。

## 修理メモ

修理実施日	修理内容	担当者

総発売元

トラスコ中山株式会社

E-mail:techno.center@trusco.co.jp

〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1丁目34番15号

お客様相談室



TEL 0120-509-849

FAX 0120-509-839

MADE IN CHINA